
時忘れの魔法使い

幾夜 憂生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時忘れの魔法使い

【Nコード】

N7844F

【作者名】

幾夜 憂生

【あらすじ】

自分に関するあらゆる事を失った青年が、自分の欠片を探しながら数多に連なる本の世界を旅する物語。――私は一体何者なのか――

●資料

■世界■

◇狭界「ブックエンド」

全ての理から切り離された多重交差世界。

◇集束界「ブック」

魔本世界の総称。

◇魔本界「チャプター」

ブックの中に連鎖して行く世界。多種多様な文明レベルの世界が数多に連なる。各チャプターの中に魔本が一つづつ存在する。チャプターの住人はチャプター間移動は原則として出来ない。

※鍵「シールブレイク」

魔本を開くためには魔本と対となる鍵が必要。

◇時忘れの世界「ポストスクリプト」

連鎖する魔本世界の果てに存在する場所。魔本界全ての謎が眠る。

■登場人物■

◇ユエルノイア

自分に関する全てを失った青年。自分の欠片を探し集めるために、連鎖する魔本界へと旅に出る。

○年齢：年齢不詳。自称永遠の十代。

○背格好：百七十五センチ。青色の長髪を無造作に後ろでまとめている。黒く長いコートを季節構わず愛用している。

○性格：基本的には温厚。昨日の事は気にしない楽天家だが、頭の中身をフル稼働できるキレ者でもある。甘い物好きで、棒付キャンデーを好んで食べる。棒付の理由は、食べた後の口寂しさを解消するため。と、魔を繰るための杖代わり。糖分が無いとキレ出す無類の糖分ジャンキー。苦手なものは子供と白いもの。

○口癖：滅べ。終われ。始まる事すら許さない。

表紙く終わりからの始まりく

私は誰だ？

私は何故、狭界―ブックエンド―にいるのか経緯が分からない。

ああ、私が私を強く求めている。何処に“在る”？何処に感じる？失われし私達は何故こんなにも遠く、近くに感じるのか。

重力や時間という理から隔絶された灰色の世界を、私はひたすら泳ぐ。：加えておくが疲れなどはない。この世界には“時”という流れは無いのだから。

どの位泳いだかは分からないが、私は私を引き寄せる感覚を便りに一冊の本を見つけた。

タイトル著者共に記入されていないハードカバーの本。

読んでみようと試みるが、それは不思議な力で固く閉ざされていた。

私が持つこの鍵……何だ？繋がっている？

背表紙に穿たれている鍵穴。それに呼応するかのごとく、鍵は段々と輝きを増してゆく。

カ。キンツ。

薄く閃光が走り目が眩んでしまった。だがそんな事はどうでも良かった。

私は封印が“破壊”できたことを知り、安堵を覚えながら、躊躇することなく、ゆっくりと、表紙を捲った。

私の体はエネルギーになりながら本の中へと迷い込んで行く――

そうか、思い出した。私の名は――

読み手を失ったその本はゆっくり閉じる。そしていつの間にか、その本にはタイトルが刻まれていた。

「時忘れの魔法使い」

「さあ、失われた自分を求めて旅をするがいい。時を手に入れた暁にお前を待ち受けるのは――」

お前の消滅だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7844f/>

時忘れの魔法使い

2010年10月10日08時46分発行